

第3回長浜市住生活基本計画策定委員会 議事録

I 日時 令和8年1月26日（月）15時～15時40分

II 場所 長浜市役所1階 多目的ルーム3

III 出席者

【委員】

※敬称略

構成	氏名	備考
学識経験者 (要綱第3条1号)	濱崎 一志	元滋賀県立大学教授 長浜市空家等対策推進会議委員
住宅セーフティネット関係者 (要綱第3条第2号)	田内 徹	滋賀県居住支援協議会 ※大森委員の代理出席
不動産関係者 (要綱第3条第2号)	為永 義正	公益社団法人滋賀県宅地建物取引業協会
建築関係者 (要綱第3条第2号)	千葉 薫	滋賀県建築士会
マンション関係者 (要綱第3条第2号)	柴田 礼輔	滋賀県マンション管理士会 ※野村委員の代理出席
福祉事業関係者 (要綱第3条第2号)	山岡 伸次	長浜市社会福祉協議会
かがやきネット (要綱第3条第3号)	宮本 麻里	かがやきネット
長浜市住宅課 (要綱第3条第4号)	草野 誠	長浜市都市建設部住宅課課長

IV 内容

1 開会あいさつ

2 議事

委員長 早速議事に入りますが、会議次第の長浜市住生活基本計画の改定について、事務局からご説明をお願いします。

事務局 それでは事務局から説明致します。資料1、「長浜市住生活基本計画の改定について（報告）」をご確認下さい。（事務局より資料1について説明）

委員長 長浜市住生活基本計画の改定に関して、パブリックコメントの結果、そして計画案をこのような形で示して頂いています。長浜市住生活基本計画に関してはこれまでの会議で更新をしており、その都度バージョンアップしているため、大きなところは問題ないと思います。パブリックコメントでは非常に丁寧にご意見を頂いていますが、やはり少し微に入りすぎているところがあり、基本計画はもう少し大きくざっくりとした方が動きやすいと思います。どなたかご意見、ご質問はありますでしょうか。

委員 このアンケート結果を見ますと、18歳以上の市民1,000人を対象にして回収率が41.6%という事で、おそらくエリアを均等に出していると思いますが、どれぐらいの年齢層から返答が来ているのか、それによってかなり違った事が回答として出る可能性があります。また、1,000人に調査票を発送し、400人強の方からの回答があったという事ですが、もう少し回答があっても良かった気がします。

事務局 回答率が41.6%という事で、おっしゃる通り、もう少し回答があっても良かったと思います。今回、アンケートの実施にあたり、特に若い方からのご意見も貴重と認識しているため、郵送はもちろんですがオンライン回答もできるようにして、スマホですぐ読み取り回答ができるようにして、若い方々からもご回答頂いています。しかし、無作為抽出ですので、回答が難しい方や、回答をする気がない方にどうしても当たってしまう事は、このようなアンケートの宿命だと思います。70歳以上のアンケートの回答率は、有効通数416通のうち37.7%でした。無作為抽出の中でいわゆる公平性を担保する中でどこまで多くの年代の方に回答頂けるかは、住生活基本計画だけではなく市内で全ての計画において1つの課題になっています。おっしゃる通り回答率が多ければ有効な施策が打ち出せると思いますので、今後、オンライン回答の方法、QRコードの読み取り以外の手法もできないか等、アンケートのやり方の見直しや、なるべく回答しやすい仕掛け等も検討できればと考えています。

事務局 若干補足致します。ご覧頂いていると思いますが、資料4、資料編のP.56にアンケート結果を纏めた箇所があります。P.56の問5で「あなたの住まいの地域はどこですか」という設問があり、回答者がどの地域にお住まいかの数字は、ご覧の通りとなっています。あくまで無作為抽出ではあるものの、1,000名が対象で、当然、旧長浜地域にだけ回答が偏る訳にはいかないため、回答の配布時点で、ある程度地域ごとの人口に応じた割り振りは行い、その中の無作為抽出の形で各地域にお送りしており、結果的に各地域で回答頂いたのがこの人数でした。長浜地域からは416の内の約半分216の回答があり、余呉地域の方は416の内わずか7の回答であった結果を考えますと、人口の違いはあるものの、地域ごとの特徴や

課題の抽出をアンケートだけでできるのかについては、一定の課題もあると認識しています。毎年、市で住民満足度調査を実施し、長浜市がこのような街であつてほしい等の調査を行っています。住生活だけでなく市民アンケートを取る場は沢山あるため、次回以降、より意義のあるアンケートになるよう改善していきたいと考えています。

委員長 他にご意見はありますでしょうか。それでは、長浜市の住生活基本計画はこのよ
うな形で進めさせて頂きます。ありがとうございます。

3 その他

委員長 会議次第のその他についてですが、今回の委員会が締め括りの会と計画されており、本日で最後になります。本計画や今後の住環境に関すること、またアイデアのご提案がありましたら何でも結構ですので、皆様から一言ずつ頂きたいと思いますが、順番に伺っても宜しいでしょうか。

委員A この計画に関しては、私共が進めている福祉と非常に密接した住環境という事で、住生活基本計画の中に福祉とも密接に連携したあらゆる分野のことを記載頂いた事で、福祉は福祉だけでやるのではなく、このような住まいも関連して進めていくという事が非常によく分かる計画になったと考えています。私共は福祉の分野に携わっていますので、住生活に関連してパブリックコメントで指摘されている福祉の分野に関する細かなところは、責任を持って進めたいと考えていますので宜しくお願ひ致します。

委員長 ありがとうございます。順番で宜しいでしょうか。

委員B 立派な基本計画になったと思います。実際、こちらを基にどのように市で運営していくのか、細かいところまで十分勉強できていないまま本会議に参加し申し訳ありませんが、パブリックコメントにもありましたように、細かいところを期待される市民の方もいます。このような形で市の方針を出しましたが、それぞれ担当される部署はかなり広い範囲に亘ると思います。これをいかに運用し目標に近づけていくかは、各部署の考え方や予算の取り方等によると思います。10年ぶりに改定し、また次の10年に向けてという事だと思います。今回、この計画ができる実際どのような進捗になっているか、途中のチェックと市民にフィードバックする事ができれば、より市民の方々にとって身近な計画になると考えます。

委員C 業界の分野に関して、空き家の部分についてですが、長浜市内に住んでいる方か

らも時々ご相談がありますが、昨年の4月に建築基準法が変わり、増改築が非常に多いにくくなっています。行うにしても非常にコストがかかる等、そのようなことも横目で見ながら10年間の目標を策定する中で、このようなことも考えなければならないという部分は、途中で見直しが入ることなので、例えば追加で何らかの支援ができるような策を設けて頂く等が必要と考えます。そのような事は住民が行動を起こす際に法的な分野でかかわってくる部分があると思います。やはりそのような点は、気を付けて頂き見直しの際に対策や補助する等の見直し策を出して頂けると、市民の方も喜ぶと思います。

委員長 ありがとうございます。オンラインで参加の方々も一言ずつお願ひします。どなたからでも結構ですので順番にお願いします。

委員D 私は子育て世代を色々とサポートをしているという事で会議に出席していますが、子供を産み育てやすい住まい作りということを書いて頂き、お母さん方はどこに家を建てるか、米原か長浜かと色々迷うという声を聞く中で、やはり最後は長浜で家を建てて暮らせて良かったと思えるような取り組みに繋がると良いと思いました。先程2番目の委員の方がおっしゃったように、おそらくこの計画を進めていく中で非常に多くの関係部署、色々な課の方とやり取りがあると思いますが、住まいというところだけでなく、子育てや高齢、働きやすい等そのようなところとタッグを組み、長浜市全体として進めて頂けるとより素敵な計画になると考えます。

委員E 過去の議事録を拝見し、計画策定は皆様の大変なご尽力で作られている計画だと思いました。本日出席する前に、住み続けたいまちのランキングをインターネットで見たところ、滋賀県では2024年に長浜市が1位でした。今年は2位に下がっていましたが私の妻の実家も長浜ですが、長浜市に住んでいる方は一度住むと、外に引っ越す必要ないと感じるまちではないかなと思います。そのため住み続けたいという部分は、現在も住み続ける方にこのような事ががあれば良い、例えば仕事や子育ての部分を充実することで更に住み続けたいという思いになります。逆にマンションでは、正直、隣の方すら誰かわからない等、そのような課題もあります。長浜市には、自治会などのコミュニティが充実している関係で地元に暮らしたいというご意見があり、そのようなまちになっていると思いますので、そのようなところを更に発展的に進めて頂くと良いと思います。

委員F 今回の計画でセーフティネット等、居住支援の内容を盛り込んで頂いていますが、県の居住支援協議会としても県内の各市町の取り組みと連携し、居住支援を推進していきたいと考えています。

例えば草津市では、勉強会をする際は県からも出席します。また先日、甲賀市で居住支援団体を掘り起こすということで地元の団体、企業と一緒に訪問し、話をするといった事も行っています。長浜市とも今後連携をし、一緒に今回の計画の推進を進めていければと考えていますので、今後とも宜しくお願ひ致します。

委員長 ありがとうございます。只今、ご意見を頂きましたが、私からも一言お伝え致します。実際、この基本計画から実施に向けどのように落とし込むかですが、飾り物のようなものができる仕方がないため、何とか実施して頂きたいと思います。また、私自身、古民家の再活動を行っており、かやぶき民家の保存も行っているため、先週の土曜日は雪の中近江八幡、舞子のところでヨシを刈っていました。その際、大阪から参加していた若い女性 2 人がおり、県立大学の卒業生で大阪に就職、仲は良いが別々の会社でデザイナーの仕事をしており、今後 2 人で独立し起業したいとの事でした。ちょうど近江八幡の丸山というところで活動を行っていましたが「この辺で空き家はありませんか」という話が急に出ました。別に悪いところではなく自然も良いところですが、もう少し全体を見てからにしては、という事で、長浜、彦根、近江八幡、米原と色々なところを見てほしいと伝えました。その際に 1 つ紹介したのが長浜駅近くのまちづくり会社がやっているコワーキングスペースで、最初はそのようなところから事業を始められる事、独占して行いたい場合は長浜まちづくり会社が持っている町家の小さなスペースを借りることもできる事など、色々な条件を見てはどうかという事を話しました。長浜だけでなく彦根の防災建築街区で力があれば DIY で事務所の中を綺麗にして行うという事もできるという話をしました。長浜と言うと非常に興味を持って頂けました。そのような意味で、若い人をどんどん引っ張っていく、落とし込むためには、やはり来たいという人をサポートする体制が一番大事だと思います。また卒業生等を連れて歩きたいと思います。

大体ご意見を頂きましたが、追加である方はいますでしょうか。それではご意見は出尽くしたという事で、事務局からお願ひします。

事務局 皆様ありがとうございました。

今後のスケジュールを申し上げますが、今回、全ての住生活基本計画策定委員会は終了となります、策定委員会を通じてご確認頂いた本計画は、3月の長浜市の市議会に提出し、3月下旬～4月上旬に掛け、広く一般公開されるためご承知おき下さい。

委員長 以上で本日予定していた会議事項は終了となります、改めて追加等ありますでしょうか。

委員 色々とアンケートを取られたものに関して、私が連合区長をしており、自治会長等と話をする機会が多いのですが、何かの機会に資料を出すという事は可能でしょうか。

事務局 自治会の中で出すという事でしょうか。

委員 その通りです。

事務局 計画そのものは資料編も含めホームページ上に公開されるため、自由にお使い頂いて問題ありません。

委員長 それでは議事進行にご協力頂きありがとうございました。進行を事務局にお返し致します。

事務局 閉会に辺り一言、お礼を申し上げます。委員の皆様には 1 年間、長浜市住生活基本計画の策定に向けて多大なるご理解、ご意見を頂き誠にありがとうございました。本計画を基に、長浜市は住生活の充実に向けた取り組みを進めて参ります。委員の皆様におかれましては、今後とも宜しくお願ひ致します。本日は、ありがとうございました。それでは終了致します。オンラインの皆様もありがとうございました。

以上